

令和2年度 第1回 印西市青少年問題協議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年2月 1日（月） 資料発送日  
令和3年2月22日（月） 意見締切日
- 2 開催場所 書面開催
- 3 出席委員 板倉会長（市長）、大木委員、伊藤委員、佐藤委員、關委員、小川委員、  
颯佐委員、中村委員、瀬田委員
- 4 事務局 印西市教育委員会教育部 生涯学習課、指導課
- 5 内 容 (1) 青少年健全育成関係事業について【資料2、3ページ】  
(2) 児童生徒の安全確保についての取組について【資料4、5ページ】  
(3) その他
- 6 意 見

(1) 青少年健全育成関係事業について

委員 新型コロナウイルス感染症により多くの事業が中止又は変更を余儀なくされ、十分な活動を行えなかったものと思いますが、未だ出口が見えないコロナ禍において生活様式の変化も踏まえた活動を期待しています。

委員 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため（緊急事態宣言不要不急の外出自粛中）いろいろな事業が中止になり残念です。

事務局 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため様々な事業が中止せざるを得ない状況となってしまいましたが、今後については安心して参加できるような新しい生活様式に対応した事業の検討を重ねてまいります。

(2) 児童生徒の安全確保についての取組について

委員 登下校中の安全確保に関して、コロナ禍でのマスク着用により人相が確認出来ず、不審者への対応が困難になっており、特に中高生の自転車での遠距離下校時において農地や山林などの人家が少ない地域もあるため不安は大きく、更の注意を払う必要を感じています。

又、コロナ禍での外出自粛等の影響により余暇時間の増加や塾の通信授業・

ネットでの資料配布等、スマートフォンやパソコンなどの通信機器に接する機会が増えており、インターネット上でのゲーム等への高額課金や犯罪行為等も増加傾向にあると報道にて見聞きしました。

今年度の「安全教育の充実」における「防犯教室」は残念ながら全校中止になっておりますが、今後は形式変更等も踏まえてさらに充実した対策が必要だと思われまます。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束することを祈ります。

委員           G I G Aスクール構想の実現に向けて機器の導入、ネットワーク環境の整備ばかりに力点が置かれている。子どもたちの使用時の姿勢やネットモラル教育等健康・安全面をより重視すべきである。

委員           コロナ禍において学力保障は勿論大切であるが、安全・衛生管理を全て教職員が担っている。本校において不服を唱える職員は皆無だが、子どもたちの安全確保には、ゆとりが必要である。

委員           登下校の見守りをP T Aが中心になって実施している。地域の力を借りるため組織作りが必要である。

### (3) その他

委員           単位子ども会の減少により子ども会育成連絡協議会は行えなくなりましたが、加速している核家族化や個人主義により、社会全体で子どもを見守るといふ活動が難しくなっています。コロナ禍によって他者との接触が制限され、更に顕著になっていると感じていますが、今後の活動がより良いものになることを願っております。

以上